

シラバス詳細

IPE科目																													
授業科目名																													
カリキュラム2019																													
I P W論 Interprofessional Work																													
No.		時間割番号								開講時期								曜日・時限											
1		200300301								後期								月曜3限											
2		200300302								後期								月曜3限											
ナンバリング																													
B_IPE2100																													
配当年次 および 必須 (●)・選択 (○) の別																													
No.		看護		編入		理学		作業				社福		編入		福祉				行動		編入		検査		口腔		教職	
												専攻								専攻				専攻		専攻			
1		2●		2●		2●		2●				2●		2●		2●				2●				2●		2●			
2		2●		2●		2●		2●				2●		2●		2●				2●				2●		2●			
履修における注意点・履修条件等																													
ヒューマンケア論・ヒューマンケア体験実習につづく全学必修の科目です。履修者は前期の前半（学籍番号が奇数＝①）、後半（学籍番号が偶数＝②）に分かれていますので、掲示などにより自分がいつ履修するのか確認してください。またチームごとおよび授業内容によって講義室が変わることがありますのでご注意ください。																													
科目責任者		松尾 彰久								単位数・時間数				1 単位 15 時間				授業形態				講義							
科目担当者		宮部明美、浦丸直人、清水新悟、小川孔美、大木いずみ																											
科目に関連する実務経験																													
授業の概要																													
IPW論は、保健医療福祉・教育分野の多職種が、患者・利用者中心の支援活動をチームで行うための基本的な考え方とスキルを学び、3年次のIPW演習、4年次のIPW実習に発展していく科目です。IPW論では「尊重」をテーマに、自分が目指す職種及び自分以外の関係職種の理解、およびチーム活動の基本的なスキルの獲得を目指します。これらに関する考え方・理論を講義にて教授するとともに、異なる学科の学生による混合グループでチーム活動を行い、体験を通じて学びます。ヒューマンケア論（共有）、ヒューマンケア体験学習（発見）を基盤として、IPW論（尊重）、IPW演習（合意）、IPW実習（創造）と学年進行に伴って連携と統合のための能力を養うIPE科目の一科目です。 授業は対面で行います。																													
学習のねらい																													
授業の到達目標として、次の4つを設定しています。 ①患者・利用者を中心とした専門職連携実践の意義と方法を理解する ②チームメンバー個々人やその専門分野の特徴と多様性を相互に理解する ③チーム形成の理論と方法を学び、課題解決のための議論を主体的に行う。 ④リフレクションの理論と方法を用いて、チーム活動に関する今後の自己学習課題を明確にする。																													
関連するディプロマポリシー																													
対象者の理解・倫理観						客観的・批判的思考						多目的・専門的						連携・統合						国際的・地域					
○												○						○											
授業の到達目標及び授業概要																													
回		授業の到達目標								授業概要								担当教員				講演者							
1		IPWが必要とされている背景と、本授業で獲得を目指す連携の能力の概要を理解する。 本学の異なる学科の学生同士グループを形成し、各メンバー個人の理解と、そのメンバーが学ぶ専門知識・技術に対する理解を深める。また、ディスカッションやコミュニケーションの基本的様態について理解し、実践する。								【奇数クラス】10/07 【偶数クラス】12/2 オリエンテーション チーム形成・多職種を知る① ・自己紹介（私の大切なもの） ・学科紹介								松尾、宮部、浦丸、清水、小川、大木				☐							
2		チームによるディスカッションのための方法論に基づき、実際にグループディスカッションを行い、基本的方法を習得する。								【奇数クラス】10/14 【偶数クラス】12/09 チームワークの実際								松尾、宮部、浦丸、清水、小川、大木				☐							
3		リフレクションの意義と意味を理解し、実際に各グループでリフレクションを行うことを通じ、個々人及びそれぞれのチームが、「体験から学ぶ」方法を習得する。								【奇数クラス】10/21 【偶数クラス】12/16 リフレクション								松尾、宮部、浦丸、清水、小川、大木				☐							

4	本学で養成していない専門職が、どのようなIPWの経験から、どのようにIPWを捉え、行動しているかについて理解する。	【奇数クラス】10/28 【偶数クラス】12/23 多職種を知る②（ゲストスピーカー） 【奇数クラス】精神保健福祉士・主任介護支援専門員、薬剤師、看護師・主任介護支援専門員 【偶数クラス】医師、管理栄養士、コミュニティデザイナー	松尾、宮部、浦丸、清水、小川、大木	☐
5	各チームメンバーの表出により、事例に対するそれぞれの専門分野からの知見を共有し、目標の設定や援助計画を策定する方法を獲得する。	【奇数クラス】11/4 【偶数クラス】1/06 模擬IPW①	松尾、宮部、浦丸、清水、小川、大木	☐
6	各チームメンバーの表出により、事例に対するそれぞれの専門分野からの知見を共有し、目標の設定や援助計画を策定する方法を獲得する。	【奇数クラス】11/11 【偶数クラス】1/20 模擬IPW②	松尾、宮部、浦丸、清水、小川、大木	☐
7	事例に対する目標の設定や援助計画をチーム間で共有する。 チームでこれまでの活動をリフレクションし、今後の自己学習課題を見出す。	【奇数クラス】11/18 【偶数クラス】1/27 模擬IPW③（発表） リフレクション	松尾、宮部、浦丸、清水、小川、大木	☐

教科書
教科書：埼玉県立大学編『新しいIPWを学ぶ－利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携』（中央法規）
参考書、教材等
評価方法
課題シート（第1回で使用）、リフレクションシート（毎回）、最終レポート（授業終了1週間後提出締切）、授業への参加度により評価を行う。 最終レポートの課題：IPW論で学んだことの中から、印象深いことを3つ選び、それぞれについて自分のIPW論の授業における具体的体験と結び付けて論じる（2,000字以上／WebClassに提出）。
授業外における学習方法
教材を取りまとめた冊子を配布します。教材を一読したうえで毎回の授業に望んでください。
学習上の助言や授業改善に関する教員からのコメント
複数学科の混成チームで履修します。欠席の多さや参加度の低さはチームの学びを減少させます。積極的にチーム活動に参加し、主体的に学びを獲得してください。

授業における講演者（ゲストスピーカー）の情報			
回	講演者氏名	講演の概要	備考
1	佐藤厚志	三郷市地域包括支援センターみさと南 元所長・主任介護支援専門員・精神保健福祉士	
1	土居努	埼玉筑波病院 薬剤師	
1	佐藤厚子	訪問看護ステーション夢 看護師・主任介護支援専門員	

最終更新日：2024/09/26 15:50

印刷 閉じる